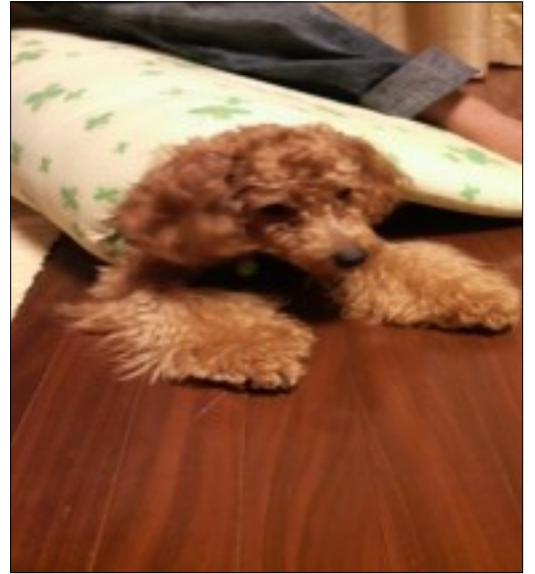


わんにゃん通信



向山4丁目、Yさん宅のメリーちゃん、13歳の女の子です。いつもはおとなしいけれど、知らない人には吠えてしまう。「新聞、郵便配達、電気・ガス・水道の検針の方々、いつもすみません。」と奥様。

向山のKさん宅のポンちゃん、9歳の女の子。とっても優雅でセレブ感たっぷりのポンちゃんは「会話は出来ないけど家族の一員です。」とKさん一家から愛されているのです。

向山のSさん宅のチロルくん、10カ月の男の子。小さいけどヤンチャでいつも兄のビビくん(ビーグル)をいじめてます。クッションはチロルのチッチでくさいです。(笑)

川村二郎の食歳時記

【宝月堂】 ☎ 0857-22-3745

鳥取市二所町は、鳥取城下で二所屋がはじめて建てた町なのでこの町名になったと伝えられるが、和菓子「宝月堂」がこの町で創業したのは明治三十五年のこと。(宝月せんべい)を焼くようになったのは、戦争が終わった昭和二十年からである。このせんべい、城下では江戸のころから庶民が口にする駄菓子の一つだった。贈答品に。出世したの、当地にきて食べた民芸運動の創始者、朝宗が、「コレないものを駄菓子にしておくといい、もったいない」といったのがきっかけ。それを愛した地元朝宗悦の信平君が、

生美せんべい

「一茶席に出すような和菓子を作る『宝月堂』が受け継ぎ、生美せんべいの格が上がるから」と認めて、今に至っている。生美は地元のものしか使わない。一枚一枚手で焼くから、焼き色が違う。一枚ずつ手で曲げるから、波の形も違う。味だけでなく見た目にもひびいた感じがするのは、一枚ずつに人の手がかかっているからである。

「スターも付いていない。すべて手動。何ともコンピュータ制御のハイテク時代に極め付きのローテクだ。」

「こぼれをさすだけで、故郷知らずなんですよ。」

「という五代目の佐々木徳郎さんは十月十五日で三十六歳になる。アラフォーの歳様より若い。」

味にこぼれは、朝宗悦へというの、もちろん減額。

漢字パズル

リストの漢字を白マスに入れて漢字しりとりを完成させてください。リストに残った四つの漢字でできる熟語が答えです。

二	人	三	線	食
性	酸		為	
生	硬	粧	断	実
	脈	康	剛	立
		運	素	酸
時	眠			晩
				器

医化家活間脚健国
質主熟食人成素大
中的動八美品腹分
目有睡

リスト
答え
前日の答え 二百十日

人間万歳

川村二郎 岡野弘彦さん

岡野弘彦さんは、今は亡き昭和天皇の和歌の御南校をされたいた歌人である。国文学者であり歌人でもあった折口信夫の晩年に起居をともにして教えを受け、万葉人の心を持つ歌人も評される存在である。

国学院大学の教授時代は、学園紛争が燃え盛った時期だったが、どんな過激派の学生も、岡野さんの前にはおとなしくなったと伝えられている。歌人というより、凡人の風を感じさせるものがあったからだろう。

その教え子の一人が直木賞作家、朝老沢久さんだった。直木賞の授賞式に出るとき、

「先生の一番いい羽織袴は僕に貸して、先生は二番目にいいのを着て

下さい」といわれ、岡野さんは承諾した。目に入れても痛くない教え子だったからに違いない。

その朝老沢さんが八月十三日、五十九歳の若さで逝った。八月十七日の葬儀で、八十五歳の岡野さんは弔辞を述べ、挽歌を朗誦した。先生の許しを得て、左に挽歌三首を記す。

魂まつる益の夕べぞ男さかりの
命返くして君すまでにしてし
われよりも早く逝きたる君を哀く
夜雨の響の生き傷るまで

秋風の大和のむちを行きゆかは
うら若き日の君に逢はむか

文字数にすれば、三首で白子足らずである。それなのに心を撫んで離さない。歌の持つ力をあらためて思い知らされている。

モグタン通信 応募要綱

毎月9日消印有効

当ASAのお客様はどなたでもご利用になれます。直接来店くださるか、応募券をハガキの裏に貼り付けて投函してください。FAX電子メールの受付も致しますが、電話での受付は致しません。宜しくお願いします。

モグタン応募券

景品希望だけでも受付ます

景品希望番号【 】氏名 住所

ご意見ご要望(枠内に限りません)

パズルの答え